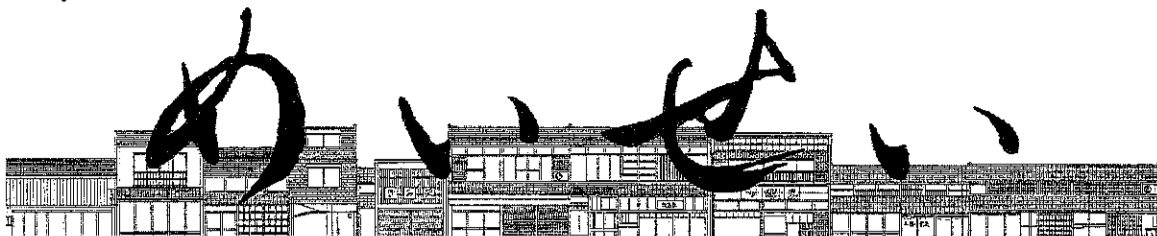


http://www.e-meisei.net

No. 71

発行 (公社)愛知建築士会名古屋西支部
 編集 広報渉外委員会
 名古屋西支店名西一丁目20番49号 クラ設計内
 TEL(052)908-0939 FAX(052)908-0836
 印刷所 株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227



新支部長に聞く……



岡島 直樹 支部長

Q.お忙しい中、インタビューの時間を頂きありがとうございます。早速ですが新支部長になられた感想を聞かせて下さい。

A.勤めていたゼネコンの設計本部を退職し、東京より愛知に戻り愛知建築士会に入会して20年目に名古屋西支部第9代支部長に就任いたしました。歴代支部長の方々の活動を振り返るととても重い役職で緊張しています。入会当初は研修や親睦などに参加するだけで満足していましたが、本会で青年部会や各委員会での活動を通じて徐々に本会や支部の事を考えるようになっていたところ、役員選出会議でご推挙いただき支部長をお受けしました。

Q.現在の西支部は様々な事業で活発な活動をしています。その活動をどう思われますか。

A.支部事業もちろんですが本会へ出向している方、まちづくりや社会貢献など、多くの分野で支部の方々が活躍されています。これは各方面から西支部に対する評価と期待の表れであると思います。愛知建築士会の22支部中、トップレベルの活動を行っている西支部の皆さんをこれからもバックアップさせていただきます。

Q.新支部長はどのような色を出していきたいですか。

A.私も含めて副支部長、委員長が若い世代に替わりました。若い皆さんとともに、過去にとらわれない新しい発想も積極的に取り入れて支部を運営していきたいと思えます。もちろんきちんと議論していくという支部の伝統は守っていきます。役員会でもいろいろな方から意見や所見をいただくようにしたいと思います。

Q.最後に西支部の皆さんに一言お願いします。

A.今後も各方面から評価され期待される名古屋西支部であり続けるよう、皆様とともにこれから2年間支部長として頑張ってお参りますのでよろしくお願い申し上げます。

プロフィール

- 名 前/岡島 直樹(おかじま なおき)
- 生年月日/昭和35年7月4日(アメリカの独立記念日)
- 趣 味/マラソン(タイムは6代支部長の臼井さんには到底及びません)、腕時計(アンティークも含めていろいろ集めています)
- 好きなもの/美しい風景、おいしい料理(パスタが大好きで、毎日毎食でも平気だと思います)
- 嫌いなもの/人混み(おいしいものは好きですが行列してまで食べるのは苦手です)
- 最近のマイブーム/仕事の合間に、時折公共の茶室を訪れています。立礼席でお抹茶とお菓子が250円と破格の値段の処もあります。喫茶店へ行くより優雅な時間を過ごせます。

新役員ごあいさつ

●総務企画委員会担当副支部長—高倉 康人



この度、総会にて総務企画担当副支部長として選任されました高倉康人です。永らく総務企画委員長を務めさせて頂きましたが、支部役員の若返りに伴い、各新委員長と共に支部活動を盛り上げていきたいと思えます。

本会との調整で3年ぶりの役員改選を行った今年度は、役員オリエンテーション、会員名簿の作成、ホームページの更新など、総務企画としては忙しい年になります。特に会員名簿については本会同様会員減少が続いており、西支部も平成11年度の384名をピークに今年度総会時は238名と約6割に減少しています。特に20代の会員は0名で、愛知建築士会全体をみても全会員の2%未満と、若手建築士の存在自体が深刻な状況になっています。

西支部は青年委員会の年齢上限を45歳としましたが、それでも1ページに収まってしまいそうです。少子化による若い世代の減少もありますが、時代の流れなのか建築士を目指す若手の減少が大きな原因になっているようです。

私は26歳で独立して事務所を開業しましたが、最近では26歳以上で新卒面接にやってくる学生が多くいるようです。大学や専門学校で知識を蓄えてから、との考えが主流のようですが、若くとも建築士会には経験豊富な先輩方が沢山在籍していて色々な相談にのって頂けます。

そのような魅力を伝え、若い世代を増やす活動を新委員長と発信していければと考えています。会員の皆様も是非、支部行事にご参加頂きまして情報発信のお手伝いをお願い致します。

●研修委員会担当副支部長——伊藤 顕



この度、前期に引き続き副支部長に就任しました伊藤顕です。高倉・森両副支部長と共に岡島支部長を支え、名古屋西支部の発展に努めていく所存です。

前期は総務企画委員会担当でしたが今回は研修委員会担当となり、引き続き本会のCPD・専攻建築士委員会にも所属しておりますので、支部の研修委員会とも連携が取りやすくなったと思えます。

さて、その専攻建築士制度ですが現在全国で約1万5千人の方が専攻建築士として活動しています。名古屋西支部でも20数名の方が活動していますが、一時に比べかなり減少しました。CPD制度には多数の方が参加していますが、専攻建築士制度となるとなかなかメリットが見えず参加者減少に歯止めがきかない状態です。

しかし、昨年度より進めてまいりました愛知県版専攻建築士名簿がいよいよ今年度発刊される事となりました。これを機に皆様にもう一度専攻建築士制度に関心を持っていただき、参加者増大のきっかけになればと思っております。

また過去に更新をされなかった方々にも再び参加への意欲につながればとも思えます。そのためにも名古屋西支部で平手研修委員長をはじめ研修委員の方々と魅力的な研修活動を企画してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

2年間よろしくお願い致します。

●広報渉外委員会担当副支部長——森 登



この度、広報渉外担当副支部長に就任した森です。2年間宜しくお願いいたします。主に会報「めいせい」の編集に関わってきましたので、それ以外の支部活動については少々疎い部分がありますが、伊藤・高倉両副支部長と共に岡島支部長を支えつつ、意見交換が活発で風通しの良い支部を維持できるよう、微力ではありますが頑張らせていただきます。

さて、6月中旬に建築士定期講習を受講しましたが、テキストには、前回と同様建築士法についての記述が全頁数の1/4を占めていました。業務の適正化・罰則の強化についてでした。建築基準法の章には、構造計算書偽装事件を引き起こした「A元一級建築士」と記述がありました。「姉齒」とは書いてありません。前回の講習テキストでも同じ表現となっており、建築士として違和感を感じます。

同月同じ頃、建築家で准教授の松原弘典による「児童ポルノ」事件について実刑判決が言い渡されました。更に、基礎杭の長さ不足が原因と思われるマンションが傾きました。いずれにせよ建築士へのまなざしは、平成17年の姉齒事件当時のままです。

建築士資格と独占業務、建築基準法第1条等、現実と役割・責任を真摯に受け止めつつ、ネガティブなイメージを跳ね除け、「建築士としての原点を身近に確認できる場」として、西支部の重要な役割を継承していきましょう。

新入会員歓迎会 水野 志保

5月24日(土) 18:30より名古屋駅近くにある、古民家の風合いを生かし江戸時代の蕎麦屋を再現した『猪口猪口(ちょこちょこ)』で新入会員歓迎会を行いました。新入会員4名を含む24名の参加がありました。

新支部長の挨拶のあと乾杯し、少し場が和やかになってから参加者全員の自己紹介がありました。現会員のユーモアのある自己紹介に笑い声も上がり、緊張していた新入会員の方々も更に和んだ様子でした。あっという間の2時間で、締め挨拶の時には盛り

上がっていた為になかなか声が届かないほどでした。参加して頂いた皆様ありがとうございました。

青年委員会では今後、家族を含め西支部会員が交流を深めるための親睦会として、映画「WOOD JOB」の撮影場所にもなった三重県度会郡大紀町滝原の森でのキャンプを考えています。また地域貢献活動として愛知県指定文化財とされている西区の堀川沿い美濃路にある川伊藤家の清掃ボランティア活動、年明けごろに研修見学会を企画しています。4名の新会員の皆さんには歓迎会だけで終わらずに、今後の活動も期待しています。今まで建築士会の活動に参加したことのない方も気軽に参加をお待ちしています。



美濃路ウォッチング 白井 録造

○四間道・那古野界隈まちづくり協議会

4月18日(金)四間道町並み保存地区に指定された地区内にある伝統的建造物の実態調査を行った。昭和61年に町並み保存地区指定され、その時、伝統的建造物に指定された52棟の建物が現在どれだけ残されているかを調査した。その結果、現存建造物は29棟。28年間に23棟の伝統的建造物が失われた。現存率は56%。この保存地区は五条橋筋から中橋筋間の美濃路と四間道に面した地域である。美濃路に面した建物の減失が目立った。

四間道・那古野界隈まちづくり協議会ではかねてより自主財源の確保が課題であった。そのため、平成26年度名古屋都市センターまちづくり活動助成「はじめの一歩」部門に応募していたところ、6月17日付で交付決定された。助成額は5万円。書類審査のみで選考され、応募6団体から4団体が選ばれた。「展示パネル」や「建物、町並みルール冊子」作成のための予算的裏付けができた。

○清須・あま・大治かわまちづくり協議会

6月15日(日)午前9時から大治町庄内川河川敷公園において、「庄内川水辺の散策路完成報告会」が開催された。丁度、10時からのワールドカップ日本対コートジボアール戦と重なり、大村愛知県知事も挨拶の中で、「この式典の後、豊田スタジアムへ駆けつけることになっている」と述べられた。この水辺の散策路とは、「みずとびあ庄内」から下流側のあま市、大治町を結ぶ新たな水辺の散策路(3.2km)及び、河川敷公園の整備事業のことで、庄内緑地公園から「みずとびあ庄内」までの既設の散策路と合わせ総延長

6.7kmとなった。この協議会は清須市の民間諸団体代表とあま市、大治町が参加し、庄内川河川活用について意見を述べ、計画に



反映されたもの。関係行政の長や地元代表が並んでテープカット。そのあと「みずとびあ庄内」までウォーキングも開催され、参加者には、かつて庄内川で多く見られたが、環境の変化で年々減ってきていた「カワラナデシコ」の苗が配られた。この散策路には都心では珍しい広大な自然が残されていて、ウォーキングやジョギングなどに適した楽しい散策路ができた。

○みののじの館にて「地域間交流事業」開催

6月7日(土)～8日(日)、尾張西枇杷島まつりが開催された。天気予報では雨マークがついていたが、当日は祭り日和。例年通り、今年もまちづくりに関わる人達の交流を目的とした標記事業が開催された。清須市や国の行政関係者をはじめ、民間まちづくり

関係者が「みののじの館」に上がり、座卓を囲み、美濃路に繰り広げられる山車や花火を楽しみ、祭り気分浸った。記帳者数だけでも60名を超え、狭い館が賑わい続けた。

○美濃路まちづくり推進協議会総会開催

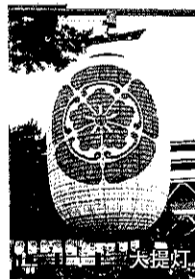
5月21日(水)、清須市新川体育会館会議室において平成26年度総会が開催された。会員16名と西区、清須市から行政担当者各1名の出席のもと開催された。例年通り、総会議案が審議され、承認された。今年度は新しい会員が参加した。平手公基、原田浩、牧野正の3氏。四間道・美濃路町並み保存も今年が大事な時、清須市の美濃路活動と合わせ、若い力がまちづくりに向けられることを期待しています。



初夏のまつり 八坂神社例大祭

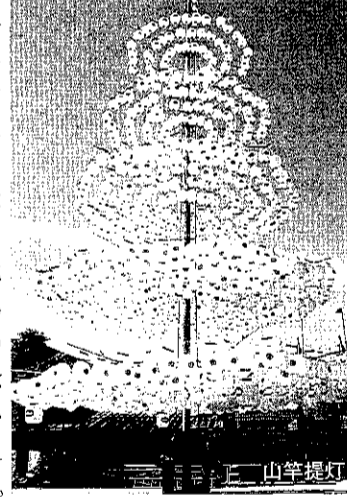
長谷川 隆雄
初夏、この地域では中村大閘祭・尾張西枇杷島祭・弁天祭等、様々な祭りが行われています。美濃路沿いの西区名西(旧八坂町)に在り、5月中旬に行われる八坂神社(京都の神社とは無関係)例大祭を紹介します。

300年程前から執り行われるようになったこの祭りは「提灯祭」とも言われ、各種提灯が灯されます。中でも「山竿提灯」は高さ20メートルの山竿(丸太)に880個の提灯が5段構えに付けられ、夜には全ての提灯に灯が入ります。昼間は白く見える日の丸提灯がこの時には何故か淡いオレンジ色の灯りで夜空を彩ります。ろうそくが燃え尽きる迄の1時間程、和紙と和ろうそくが創り出す神秘的な揺らぎが夏祭りの情緒を誘います。又、高さ5メートル直径2.9メートルの大提灯は東海地方で最大級と言われています。更に、参道には各種絵柄の提灯が灯され歴史と伝統を感じさせます。祭例のもうひとつの神事が御神渡舟流しです。河川敷で刈り取った夏の葉に参拝者が除災や願い事を書



き、祭文殿に奉斎されていた御神渡舟にこの藁を積んで町西を流れる惣兵衛川に流して祭りを終えます。この祭りの準備には大層な努力を要します。町民の減少・高齢化の進むなかで伝統ある祭礼を続けて行くのは困難な事ですが、総力を挙げて受け継いでいるのは下町の人達の心意気でしょうか。

2010年の秋、清須越400年記念事業が行われ、清須から名古屋城までの美濃路を1,200名程の人々が様々な立役で行進しました。その折、当神社では大提灯他多数の提灯を灯し、行列の人達にも楽しんで頂きました。



山歩き同好会

尾高山での山歩き 原田 大地(中1)

僕は5月18日、お父さんと一緒に標高2,212mの尾高山へ行きました。最初は標高差400mぐらいどうにでもなると思っていたけど、実際に登ってみると急な坂があったり、登ったと思ったら下って、また登ったりして、とても大変でした。でも、途中で赤石山脈を見た事のない植物が見られたりして、普段できないような体験をすることができました。

今回、一番面白かったのは、ポテトチップスの袋が、

気が下がったせいで、バンバンに膨らんでリュックから飛び出たことです。最初はペコペコだったのに、頂上に着いた時は、つまんでもつまめないほどバンバンになっていて、頂上で開ける時に、とても苦労しました。お父さんのお腹も膨らんでいました？

山に登るのは、最初にも言った通り、意外ときつかったです。最初の方の尾根道は、まだ楽な方で、そこからどんどんきつくなり、最後は斜面の角度が、45度に達しそうな所もあり、一番最後



愛知建築士会副会長 ごあいさつ

■第4代西支部長 山田 正博



プロフィール
 ■生年月日/1948年10月27日
 ■趣味/朱印帳収集
 ■好きなもの/特になし
 ■嫌いなもの/ヘビ
 ■最近のできごと/フェイスブックの使い方がわからず、途中の状態で送信してしまいました。

「感想」

西支部の皆様には本会の事業並びに委員会に積極的に参加していただきお礼申し上げます。

公益社団法人に移行し三年が経過しました、会計処理方法や1/2以上の公益事業比率といった条件もありましたが皆様の協力によりスムーズに移行することができたと思います。

士会綱領に会員相互の連携により社会の発展のため最新の指導者となることが掲げられています。専門家集団としての士会事業を会員間で共有するだけでなく地域社会に向けて発信する事に視点を置き、廣瀬新会長のもとわかりやすい士会運営に努めたいと思います。

「西支部の評判について」

会報「めいせい」が特に評価を受けています。初代支部長の馬場先生の提案で私も創刊号の発行に携わることが出来ました。紙面は裏表1枚でしたが発行を重ね大きく成長し70号の記念号発行となりました。最近フェイスブックやSNSといった電子掲示板で情報を共有することが主流となっており、紙面での情報伝達は大変かもしれませんが、原稿の校正、紙面のレイアウトからぬくもりを感じられ、西支部のこだわりと個性が感じられます。

また、支部独自の「美濃路まちづくり推進協議会」・「構造設計者の集い」への助成も他支部にない取り組みで、地域活動モデルとして今後の発展が期待されています。

「会員減少について」

団塊世代の定年や永く続いた建築業界の不況により多くの会員が退会されました。年齢別会員数は40代:20%、50代:35%、60代:35%、70代:10%となっています。退会される会員の皆様にも事情があると思いますがやはり士会に留まっていただけの魅力がないことが原因かもしれません。

会員減少については会員増大委員会で検討していただいていると思いますが、個人的には士会のPR不足も要因かと思っています。「活動が外部に発信できていない」、「各支部間で情報が共有されていない」ことも挙げられ地域に溶け込んだ活動により町の建築士、信頼される建築専門家、地震防災の指導者として若い建築士の育成を図る事も必要かと思っています。

「西支部の皆様へ」

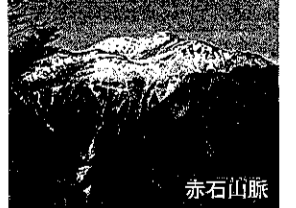
役員改選により役員の平均年齢がずいぶん若くなりました。新役員のパワーで斬新な企画による支部運営を期待します。業務に追われ忙しい事と思いますが、仕事ばかりでなく住んでいる地域との関わりも重要で、特に自宅が事務所の会員には地域の役員や世話役を依頼されることがあります。

建築士のボランティア活動として住宅耐震化、家具固定、避難所運営といった地域防災に専門知識を生かし、地域ごとの課題に取り組んでいただけますようお願いいたします。

の登りが一番きつかったです。それでも、慣れているような人は、どんどん登っているの、なぜあんなにすたすたと歩いていけるのかと思うと、自分の歩いているスピードがとても遅いんだなと感じました。

それだからこそ、頂上での御弁当はおいしかったです。御弁当はビューポイントという見晴らしの良いところで食べました。そこからだと赤石山脈が正面から見えて、とても迫力がありません。

最後の下りはまだ楽でした。下がるにつれて気圧も上がり、いろんな袋もへこんできましたが、みんなが、「腹だけはへこまない」と寂しそうに言っていました。



支部総会の報告

渥美 大作

去る4月17日ホテルサンルートプラザ名古屋において、平成26年度の名古屋西支部通常総会が開催されました。来賓には(公社)愛知建築士会副会長 廣瀬高保様をお迎えし、出席者は27名、委任80名を併せて107名となり、総会が成立しました。

司会は伊藤副支部長が務め、平手公基氏による開会の言葉のあと、牛田信彦支部長より挨拶として、会員の支部活動協力や支部各委員会活動への謝辞のほか、出前講座・川伊藤家保存活動・青年委員会活動等の継続を期待、そして3年間の支部長への協力に対する謝辞が述べられました。来賓の廣瀬副会長より、支部会員による本会活動の支援への謝辞、県内支部では唯一となる機関紙「めいせい」の継続を期待する言葉をいただきました。

議長に岡田副支部長が選出され、第1号議案(事業報告、決算報告)、第2号議案(事業計画案、収支予算案)が協議され、承認されました。第3号議案(役員改選)

については全員の挙手により承認されました。最後に、新たに青年委員長に選出された水野志保氏により、閉会が宣言されました。

総会終了後、会場を移して賛助会員及び会報「めいせい」に広告協賛を頂いている会社の担当者を変え懇親会が行われました。今総会において支部長をはじめ副支部長及び各委員長が改選され、組織が一新されました。それを受け懇親会冒頭には岡島直樹新支部長が挨拶し、会半には各副支部長・各委員長も挨拶され、新たな息吹を感じる懇親会となりました。また、会員と賛助会員との間で写真部を立ち上げることも決まり、新たな交流が期待される場となりました。

今年度、各委員長も交代し新たな委員長のもとで支部活動が進められてまいります。



浦野三男相談役のあいさつ

木造耐震診断特別委員会 牛田 清文

今年度より委員長を務めさせていただきます、よろしくお申し上げます。

今年度より診断業務の内容が、変わっていますのでご注意ください。

主な変更点は、耐震診断報告書作成シートはVer.3.1。診断プログラムはWee2012ver.1.2.0です。また、地盤の種類と開口部の耐力評価などがあります。

平成26年5月23日に北名古屋市健康ドームにて、変更点について勉強会を開催いたしました。参加頂きありがとうございました。注意事項について確認されたことと思います。

名古屋西支部 新入会員紹介

H26. 3. 1

地区	氏名	生年	自宅住所
西	栗原 由記	S51	〒451-0014 名古屋西区又穂町4丁目19番地 グランドメゾン庄内通A-1
北名古屋	永井 政光	S51	〒481-0033 北名古屋西之保清水田71-3 マーベラスII 302
西春日井	安藤 建吾	S57	〒480-0202 西春日井郡豊山町大字豊場字新田町 123番地1
西	伊藤 翔	S57	〒451-0051 名古屋西区則武新町1-31-16 ロイヤルマンション則武新町503号
西	関山 総一郎	S52	〒486-0945 春日井市勝川町6-120 ISP勝川3-606
中村	三木 大樹	S49	〒453-0033 名古屋市中村区栄生町26-6

私のおすすめ 三木 大樹



私のおすすめ、それは靴です。福岡県久留米の老舗靴メーカー、ムーンスターの純国産スニーカーです。

奇をてらったデザインではなく、誰もが足持っている様な定番のデザインのキャンパスシューズです。ですが、国内でもごく限られた工場でしか生産することの出来ない、「ヴァルカニズ製法」別名、加硫製法でつくられています。アッパー材、シューレース、全て国産材を使用しています。この製法の最大の特徴は、最終工程で加硫缶と呼ばれる“窯”に入れるという点です。この製法から生み出される靴には、ソールがしなやかで柔らかい、丈夫で壊れにくい、美しい

シルエットを保てる、といった良さがあります。

そして何より、熟練の手仕事でしか生み出せない、精巧で美しい“作りの良さ”が魅力です。今では珍しくなった、国産の靴。中敷には、自信と誇りを込めて、“MADE IN KURUME”と刻印があります。普段使いの靴のなかに込められた、日本人らしいきめ細やかな心遣いや手仕事。それを知って、すぐにネットでポチッとしてみました。

実物を手にとると、じつに美しく、作り手の気持ちが伝わってきます。

研究されてきたパターンと熟練の縫製技術や、ロール底のおかげで、足を包み込むような履き心地です。こういうものを身につけると、自然と気持ちが高揚し、「僕も何かしなくては」と思うのです。



平成26年度 役員オリエンテーション 原田 浩

7月12~13日に役員オリエンテーションに初めて参加しました。支部長始め参加者13名で滋賀県近江八幡の琵琶湖畔にある休暇村で行ないました。

今回の役員改選で役員全体の平均年齢が大幅に下がりました。支部の若手会員をどう増やすかという問題がある中で、協議事項のメインテーマは「若手建築士に求められる建築

士会のありかた」について約2時間の協議。内容としては各人が建築士会に入ったきっかけ、建築士会のメリットなどを話しあいました。決定的な具体策は見つからなかったけれどテーマのアウトラインが見え隠れし、内容の濃い有意義な時間でした。

次は難しい時間から解放され、大好きな懇親会の時間。天然温泉につかり幸せを感じる。懇親会は2時間程、その後部屋で2次会。歳が幾つになっても修学旅行気分であらう。

翌日は少し二日酔い。2日目は見学会で佐川急便が創業40周年記念事業で開館した“佐川美術館”に。建物は良いのですが、美術品・茶の展示品は自分には価値が解りませんでした。その後解散で家路へ向かい無事終了。

役員でない方も、一度役員会をのぞいて下さい。見学大歓迎です。

研修委員会の活動予定 平手 公基

この度、研修委員長に就任することになりました。宜しくお願い申し上げます。活動予定は2回の見学会と2回の勉強会です。

第1回見学会として、9月17日に光触媒技術で評価の高いTOTOマテリアの土岐工場を見学します。第2回見学会として、10月18日に京都日帰りバスツアーの予定です。昭和期の作庭家、日本庭園史研究家であ

る重盛三玲氏が作庭した庭園を巡ります。「重森三玲庭園美術館」、「東福寺」と代表作を取り上げました。昼食は明治中期の本格京町屋を改修した「百足屋」。建築のみならず料理、庭園と合わせて日本文化の美点を再発見できればと思います。第1回勉強会として、秋ごろに愛知県指定文化財「川伊藤家住宅」を建築士限定公開予定です。

第2回勉強会については目下、検討中です。何卒、皆様の奮ってのご参加をお願い申し上げます。

新入会員の抱負 安藤 建吾

4月より愛知建築士会西支部に入りました、安藤建築設計事務所の安藤建吾です。

私は2011年までハウスメーカーの東京支店で勤務し、小学校からの夢だった「設計事務所を開く」ため故郷の愛知に戻りました。

退職後は、「外国人と流暢に話したい」という願望を胸にフィリピンへと渡り、寮生活をしながら2か月間勉強し、その後、世界中の建築を勉強するために約1年ほど世界一周旅へと出ました。

北米大陸からスタートして、中米、南米、アフリカ、中近東、ヨーロッパ、アジアというルートで、各国の建築を目で見て、中へ入って空間を体感し、スケッチをして納まりを勉強し、気に入ったアングルを写真におさめるという作業を、ただただ繰り返しました。

学生時代の建築旅を含めれば、53か国ほどの国の建築を見て回りましたが、結局気付いたのは日本の建築の繊細さ、美しさ、そして日本の文化の素晴らしさです。

これが決め手となり「自分の目指す建築は日本の材料を使った日本の建築」となりました。

独立してご飯を食べるのもやっと、という現状ですが、一つでも多くの「美しい日本建築」をここ愛知に残せるよう、日々日本建築の勉強を続けながら頑張っていこうと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。



愛知県 平成25年度 1級建築士 設計製図試験 合格者占有率 **66.8%**

愛知県の合格者のおよそ3人に2人は、当学院の現役受講生でした。

愛知県合格者244名中、163名が当学院受講生

1級・2級建築士
1級・2級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士
宅地建物取引主任者
インテリアコーディネーター

総合資格学院 結核 TEL.052-202-1751
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-2-22 中部資格ビル1F

国土交通省大臣認定 建築技術性能証明

SMD杭 スーパーミニドリル
DM工法 SMD杭工法シリーズ
HITSコラム スラリー系機械振替式 深層混合処理工法

造園 外構工事・公共工事 地盤調査・地盤改良 SMD杭製造・販売 石材加工・販売

株式会社 本陣
〒461-0048 名古屋市中区矢田南三丁目13番7号
TEL: 052-722-3000 FAX: 052-722-8311
E-mail info@honjin.co URL http://www.honjin.co

建築基準法解説シリーズ

令第47条の解説

解説担当 馬場 富雄

はじめに

最近、公共建築物を木造にする例がかなり増えて盛んに紹介されている。思い起こせば昭和30年ころから防災の見地より、公共建築物は非木造にすることが叫ばれて以後、公共建築物の木造新築はほとんど姿を消していった。

従って現在活躍中の建築士の方々は住宅以外の木造については、多分経験のない方ばかりになってしまっているのではなからうか？

一方、以前は来る日も来る日も木造建築の設計施工に明け暮れた建築士の方々は、今や90歳近くになり、現役で活躍されている方はもう僅かではないかと思われる。

ところが、こんな中、いろいろな状況変化の関係で、また中小規模の公共建築は木造で行こうといういわゆる「揺れもどし現象」が起きている。

こうなってくると建築士の方々に、住宅以外の木造建築の依頼がくるかもしれない。そんな時、「経験がないので、引き受けるのはちょっと…」では建築士として残念な返事になる。

そこで、今一度木構造について種々のサンプル学習をされては如何なものであろうか？

それでは、今回の解説に入ります。テーマは、「木構造の中の応力の伝達について」です。

例によって、まず条文を掲げます。
(構造耐力上主要な部分である継手又は仕口)

第47条 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は、ボルト締、かすがい打、込み栓打その他の国土交通大臣が定める構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結しなければならない。以下省略

圧縮応力の伝達

理論的には母材と母材の断面全体が正確に密着すれば圧縮応力は伝達されます(図1)。この時大事なことは「正確な密着」ということで、これが不正確ですと(図2参照)、その接触面の所に応力が集中してしまいます。

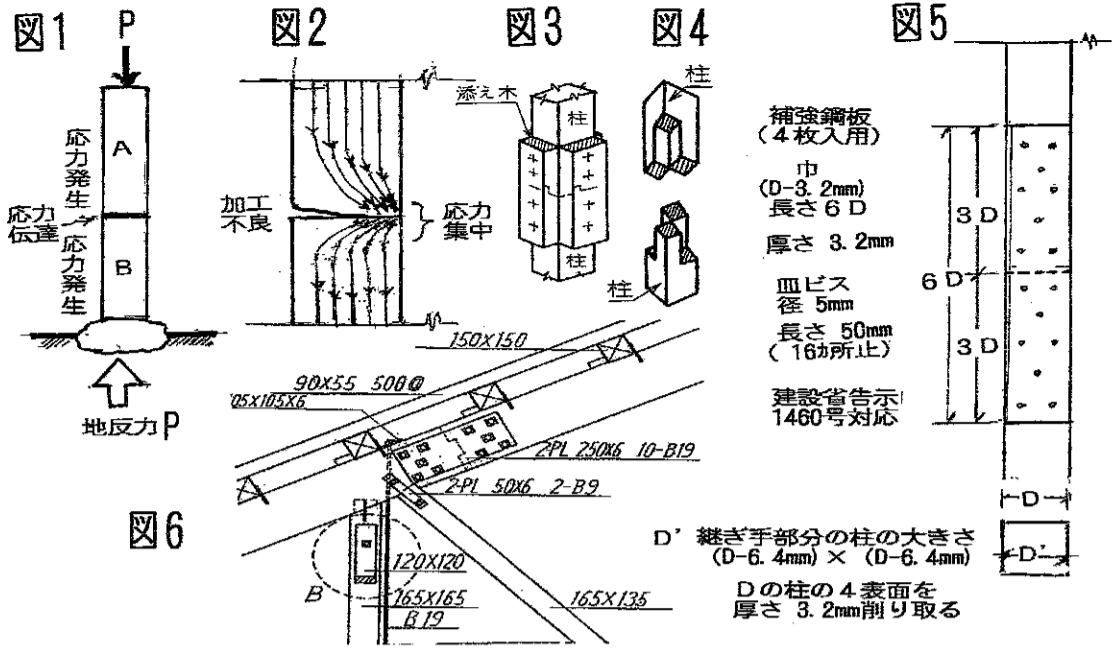


図2に示す矢印の線は力の流れを光弾性を応用した実験で得たもので、接触面に集中してきた応力でその部分の応力度が非常に大きくなり、材料強度との関係で最悪の場合は材料が破壊することにもなるのです。

次に母材と母材がずれないように添え木等で補強してやる必要があります(図3)。

この場合、床下とか屋根裏で見えない所ならよいのですが、見える所ではちょっと見苦しい形になります。伝達する圧縮力が小さい場合は、図4のような木組み加工をして組み合わせれば、母材と母材がずれず、従って添え木も要らないことになり、見た目もきれいに仕上がります。

ただし、今回は最近盛んに行われている古民家のリフレッシュ工事等で、大きな圧縮力を負担している大黒柱等の柱脚部分が腐っていて、その部分を取り替える場合についてお話しします。

太い柱については、何トンという荷重を支えているのですから、図4のような方法ですと均等な応力の伝達が難しく、またどうしても継ぎ手の部分が継ぎ手のない部分に比べてかなり弱くなっています。柱の場合は地震時の水平加力に対して、ほとんど壁が受け持つことにはなっていますが、それでも柱脚には若干の水平反力が発生し、これによって柱に曲げモーメントがかかることは当然予測しなければなりません。

継ぎ手が曲げモーメントの抵抗に弱いと、その部分

が破壊して柱は荷重に耐えることができなくなり倒壊に至るかもしれません。

従って、柱の継ぎ手は若干の曲げモーメント対策も必要になります。曲げモーメント応力の伝達には添え木等の方法がどうしても必要になるのですが、見える所では見苦しいだけでなく納まりの関係で障害になることもありますから、添え木に替わって鋼板を用いる方法がよいと思います。

図5は、柱の継ぎ手の設計例です。太い皿ビスで数十カ所留めれば、圧縮力の伝達も若干の施工の不正確を補い、さらに曲げモーメント応力の伝達も可能になります。外観も勿論すっきりとしたものになって、見苦しさはありません。

図6は、かつて木造全盛時代に画かれた、スパン16mの体育館設計図の屋根トラスの合掌部分の継ぎ手の設計詳細図です(圧縮応力の伝達)。

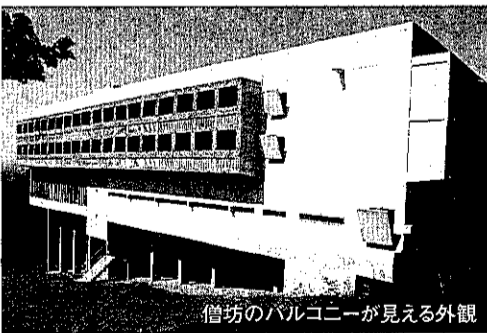
木構造の現場検査ではこのような継ぎ手部分の検査は重要事項でした。さらに木造は建て方が終わった時から乾燥、収縮が進み、せつかく締めたボルトナットも緩んでクルクルと手で廻せるようになってしまう場合があります。建物が完成してから発注者に引き渡す直前に、もう一度屋根裏に入ってボルトナットの増し締めをすることも大事な仕事でした。

次回は「引張応力の伝達」について解説します。

コルビジェを訪ねて 5

志賀 勝則

ラトゥーレットの修道院



僧坊のバルコニーが見える外観

リオンからバスで1時間ほどの距離にあるこの修道院(1960年)はコルビジェ後期(73才)の最も重要な作品。10年前の作品「ロンシャンの教会」と並び教会建築の代表作。

三方を森に囲まれ、町を見下ろす急斜面に建つ。100室の僧坊と図書館、食堂、礼拝堂からなる。

中庭型という修道院の伝統を継ぎながら、宗教的な光と音および集団生活の住居のありか



「ラトゥーレット修道院」の回廊(1200年頃)

たなど新しい空間表現を行っている。

設計に当たり依頼主の神父に指示され、750年前のロマネスクの「ルトロネ修道院」を訪れて、大きな影響を受けた。特に粗い石積み質の質素で研ぎ澄まされた回廊空間には、コルビジェの現代建築としての解釈が至るところにちりばめられている。

その意味でも、11世紀の「ルトロネ修道院」は必見でもある。



「ラトゥーレット修道院」の回廊

春夏秋冬

今年も夏がやってきました。夏といえば山・海・川のもろもろレジャーはありますが、夜の花火は事の大小、老若男女を問わない夏限定の楽しみといっても良いのではないのでしょうか。私も夏になると花火大会の日程を調べてみたり、後半になれば「今年行っていないなあ」としみりしたり。最終的にはコンビニに独りですること可能です。

空に咲く大輪の菊も、細く降る柳もきらきら星も、涼を呼ぶわけでは無いのに一体何が楽しいのか?それが楽しいのです。心躍るのです。

各地名所で行われる花火大会のニュースや、店先の花火セットにうずうずする気持ちに誰しも心当たりがあるのでは。華やかさや美しさは勿論、どんと身体に響く音や火薬の匂いの記憶に「やはり行かねば」の気持ちになってしまいます。あとは帰りの混雑さえ回避できればなあ…日中の場所取りも…無理か。 関山 総一郎

編集後記

仕事の中で欲張って要素を盛り込みすぎ、伝えたいことがクリアに表現できないもどかしさに包まれた時、みなさんはどうするのだろう。増え続ける大切な人たちとの関わりをすべて許容できるかといえば、おそらくそれは難しく、どこかで自分の中の覚悟を決めなければならない時がやってくるだろう。そんな時、私には決めているルールがある。「ひとつを得るために、ひとつを諦める。」 鶴飼 正樹

住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事

集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する
株式会社 **ムラテ**
〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号
TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178
URL <http://www.well-on.co.jp/>

